

## 神田愛子さん受賞祝賀会開催 7月9日

神田愛子さん(10組)の著書「まぼろしのノーベル賞 山極勝三郎の生涯」が、第60回産経児童出版文化賞の産経新聞社賞を受賞し、7月9日(火)都内ホテルで秋篠宮妃殿下紀子さま御臨席のもと贈賞式が行われた。

(受賞作品の内容は、昨年5月に竹田敏君(10組)が65期HPで詳しく紹介しています。)

受賞後、同期有志による受賞祝賀会が日本橋の和食レストランで実施された。出席は、10組からは神宮進君・宮崎光明君(上田から参加)と幹事の宮澤憲一、お隣の11組からは中山正光君(高崎から参加)・深町美由君・岡田修君、他組からは原田義則君(3組)、上原昇君(2組)の8名。神田さんは贈賞式では受賞者中唯一人私服であったそうだが、猛暑日でもあり祝賀会は平服に着替えて出席。

乾杯の後、神田さんからスピーチ。本書執筆にあたってのご苦労話や出版後のエピソード、受賞の経緯(2、500冊の推薦書から8冊が受賞。新聞によると対象書は4、200冊)、贈賞式の様子(紀子さまの印象なども含め)を詳しく説明していただいた。

参加者からは質問が相次ぎ、神田さんは折角の食事もゆっくりと賞味できないほどの盛り上がり。最大の話題は、山本鼎、山極勝三郎に続く第三作目の対象主人公は誰にするかであった。

神田さんには心ばかりの記念品を差し上げたが、逆に神田さんから全員に六文銭入りのハンカチをいただき、配慮に恐縮。

今後の益々の活躍を期待し、散会となった。

### ◆神田さんからのメッセージと一句

猛暑日にわざわざ私のために集まっていただきありがとうございました。

同期の皆さんの義理と人情の厚さに改めて感服いたしました。

男子校に入って本当に良かったと思った瞬間でした。

知らせを受けた時の一句 『我が著書の受賞の知らせ万愚節』

(万愚節は4月1日のこと)

受賞の瞬間の一句 『金の楯黒文字涼し授賞式』

祝いの乾杯の一句 『祝賀会飲み放題の生ビール』

(7月10日、宮澤記)

贈賞式翌日の7/10付産経新聞の記事は

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/130710/bks13071000540000-n1.htm>

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/130710/bks13071000540000-n2.htm>

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/130710/bks13071000540000-n3.htm>

をご覧ください。

### 【写真説明】

- ① お祝い会集合写真(前列左から神宮、宮崎、神田、宮澤、岡田、中山、原田、後列左から深町、上原)

② 宮崎君から記念品を受け取る神田さん

③ 受賞の喜びを語る神田さん



写真①



写真②





写真③